

{ 2018年7月登録決定 }



世界文化遺産

長崎と天草地方の
潜伏キリシタン関連遺産

4

あま くさ さき つ しゅう らく
天草の崎津集落

Sakitsu Village in Amakusa

ガイドマップ



| 天草の崎津集落 | の価値

I 宣教師不在と
キリシタン「潜伏」のきっかけ

II 潜伏キリシタンが信仰を
実践するための試み

III 潜伏キリシタンが共同
維持するための試み



★キリスト教伝来 1569 2 崎津諏訪神社 4 吉田庄屋役宅跡

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」全体の価値における位置づけ

◎「天草の崎津集落」は、潜伏キリシタンが何を拝むことによって信仰を実践したのかを示す4つの集落のうちの一つです。

◎身近なものを信心具として代用することによって信仰を実践した集落です。

《基本情報》

文化財の名称	天草市崎津・今富の文化的景観
種別	重要文化的景観
指定年	2011年 2012年(追加選定)
所在地	天草市

資産内の 見学マナー

資産内では生活が営まれています。住民のプライバシーを考え、マナーを守って散策してください。

- ゴミ箱を設置しておりませんので、ゴミはお持ち帰りください。
- 道路を歩く場合は、広がらず、必ず路側帯を歩いてください。
- 喫煙は所定の場所をお願いします。歩きながらの喫煙やたばこのポイ捨てなどはお止めください。
- 個人の敷地や田畑に入ったり、家の中を覗いたり、無断で戸を開けたりするのは絶対にお止めください。
- トイレは所定の場所をお願いします。

教会堂 見学の 事前連絡

教会行事により見学できない場合や、一度に多くの見学者を受け入れられない場合もありますので、見学を希望される際は、事前に各受付窓口のホームページからご連絡をお願いします。

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産インフォメーションセンター
(長崎の教会群インフォメーションセンター)

〒850-0862 長崎市出島町1-1-205(出島ワーフ2階)
TEL.095-823-7650 ©受付時間 | 9:30~17:30

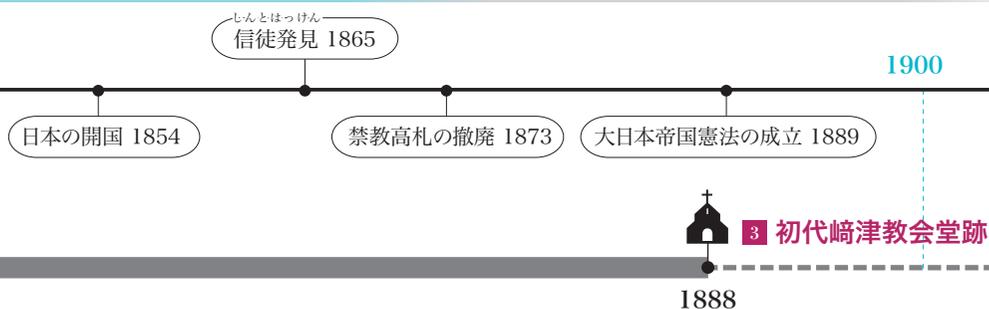
<http://kyoukaigun.jp>

キリシタン遺産 インフォメーション

検索



IV 宣教師との接触による 転機と「潜伏」の終わり



歴史

- ◎崎津集落は、戦国時代以前には集落として成立していたと考えられ、1569年にイエズス会宣教師によりキリスト教が伝えられ、広まりました。
- ◎崎津集落では、禁教期に入ってもひそかに組織的に信仰が続けられ、共同体の指導者がキリシタンの儀礼や行事を司りました。
- ◎崎津集落の潜伏キリシタンは、表向きは仏教寺院に所属し、地域の守り神である崎津諏訪神社²の氏子となり、吉田庄屋役宅⁴で「絵踏」を行い、キリシタンではないように振る舞いました。
- ◎長期にわたって独自に信仰を続ける中で、崎津集落の潜伏キリシタンは、生活や生業に根差したアワビの貝殻など身近なものを信心具として代用し拝むということによって信仰を実践しました¹。
- ◎キリスト教信仰が発覚した1805年の「天草崩れ」の際、これらの信仰形態を取り調べた幕府は、彼らの信仰を「心得違い」として黙認しつつ、引き続き「絵踏」を実施しました。
- ◎「信徒発見」後、崎津集落の潜伏キリシタンも来日した長崎の宣教師と接触して多くがカトリックへ復帰し、1888年には初代教会堂が建てられました。
- ◎1934年に建てられた現在の教会堂は、ハルブ神父の強い願いにより、復帰の象徴としてかつて「絵踏」が行われた吉田庄屋役宅のあった場所が選ばれました。

|天草の崎津集落|のガイドマップ



| 天草の崎津集落 | のガイドマップ



《推奨ルート》

A → B → C → 2 → D → E → 5 → F → G → H → I

..... 構成資産範囲	0 重要ポイント	P 駐車場	🏠 休憩所	🗿 碑(モニュメント)等	🏛️ 教会堂跡
----- 徒歩のみで移動	A 情報発信拠点施設	🚻 トイレ	🖼️ 展示	🏯 神社	🪦 墓地、墓碑
——— 徒歩または自動車等で移動	A その他のポイント	👤 ガイド・案内所	📍 ビューポイント	🏛️ 教会堂	🏠 関連の建物跡

天草の崎津集落 | の重要ポイント案内

1 潜伏キリシタンの指導者屋敷跡

※信心具は「崎津資料館みなと屋」Cに展示しています。



④ 信心具



① 白蝶貝製のメダイ
(5.1×4.5cm、0.2cm)



① アワビ
(9.7×12.4cm、2.9cm)



① 和鏡(個人所蔵)
(10.8×10.8cm、1.0cm)



※イラストはイメージです。

禁教期の崎津集落では、大黒天や恵比須神をキリスト教の唯一神であるデウスに、アワビの貝殻の内側の模様を聖母マリアにそれぞれ見立てるなど、漁村特有の生活や生業に根差した身近なものを信心具として代用することで信仰を実践しました。指導者の子孫の家では、約50年前までクリスマスに信心具の収められた箱を開けて祈りを捧げていました。

2 崎津諏訪神社



① 崎津諏訪神社



① 崎津諏訪神社の大祭

崎津諏訪神社は、禁教期の1647年に集落の守り神として創建されました。崎津集落の潜伏キリシタンは、表向きは仏教徒として寺に所属しつつ、崎津諏訪神社の氏子でもありました。1805年の「天草崩れ」では、隠し持っていた信心具がここで役人に没収されました。現在も地域を代表する神社として崇敬され、春と秋に行事が行われています。



※イラストはイメージです。

3

 しょだいさぎつきょうかいどうあと きゅうしゅうどういん
 初代崎津教会堂跡(旧修道院)

※敷地内には立ち入らないでください。



① 崎津諏訪神社の側に建つ旧修道院



最初の崎津教会堂

この場所は、解禁後の1888年、崎津集落内に最初に建てられた教会堂の跡地です。土地は、信徒の所有地が提供されました。教会堂の建設により、崎津集落における「潜伏」は終わりを迎えました。現存する建物は、1957年に建てられた修道院ですが、現在は使用されていません。

4

 よしだしょうやくたくあと
 吉田庄屋役宅跡


吉田庄屋役宅跡(現在の崎津教会の敷地)

この場所は、崎津集落の庄屋役宅の跡地で、禁教期に聖画像を踏ませてキリシタンかどうかを調べる「絵踏」が行なわれていました。解禁後、フランス人のハルブ神父は、1934年に新たな教会堂(現在の崎津教会①)を建てる際、強い希望によりこの地を選び、かつての絵踏の場所に祭壇を置いたと伝えられています。



※イラストはイメージです。

過去と現在のエリア比較

過去



崎津村絵図(1842年以降、天草市 松浦家所蔵)

現在



現在の崎津集落

| 天草の崎津集落 | のその他のポイント案内

A あまくさしきつしゅうらく 天草市崎津集落ガイドセンター



①



①

観光ガイドの受付に加え、来訪者には映像やパンフレット等で見学に必要な情報を提供しています。また、集落の見学マナーや崎津教会の拝観マナーの周知を行っています。

- 所在地／天草市河浦町崎津1117-10 Tel: 0969-78-6000
- 営業時間／9:00～17:30
- 休館日／12月30日・31日・1月1日
- 入場料金／無料

B やすどころ お休み処 よらんかな・カケ



①



①

カケ

元は漁師網元の家で、現在は来訪者の休憩所として活用されています。「カケ」は、船の係留や干物づくり、漁具の手入れなど、漁師の作業場として使われる海上テラスのことです。

C さきつしゅうらく 崎津集落ビューポイント①



①

前方に見える崎津教会は禁教期に吉田庄屋役宅のあった場所です。庄屋役宅跡に加え、崎津諏訪神社と参道を含む集落一帯は、禁教期から今日まで、土地形状がほぼ継承されています。寺や神社といった日本在来の宗教施設と教会が共存する特徴的な集落景観となっています。

D しんぶはか ハルブ神父の墓



①

現在の崎津教会を建設したフランス人のハルブ神父の墓です。ハルブ神父は1927年12月に司祭として着任して以来、宣教と教会堂の建築に献身し、1945年1月、81歳で永眠しました。

| 天草の崎津集落 | のその他のポイント案内

E 崎津集落案内所



①

来訪者に、崎津集落の歴史などを解説しています。集落見学のマナーの周知や教会内の見回りを行っています。



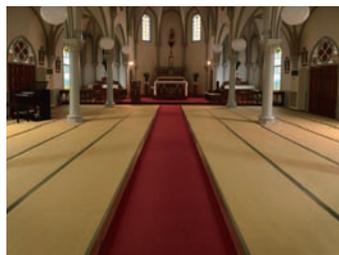
F 崎津教会



②



①



①

1934年、ハルブ神父と住民の寄附によって建てられました。コンクリート造りの計画で建築されましたが、資金不足により、途中で木造に切り替えられたため、灰色のコンクリート部分と白色の木造部分が混在する特殊な教会堂となりました。堂内には、建設当初から日本の生活様式を取り入れて畳が敷かれており、床に座ってミサが行われていました。

教会堂の見学マナー

教会堂は大切な祈りの場ですので、見学マナーを守り、厳肅な雰囲気の中で心静かにお過ごしください。

- 堂内では帽子を脱ぎ、静かに拝観してください。
- 堂内にある物にはふれないでください。
- 柵内、内陣(祭壇域)には入らないでください。
- 堂内での飲食、飲酒、喫煙は厳禁です。
- 堂内の写真撮影は禁止です。
- 教会行事(ミサや冠婚葬祭など)が行われているときは入堂をご遠慮ください。
- 教会堂見学に対する感謝の気持ちは、教会堂保存のための寄付として設置してある献金箱をお願いします。



G さきつしりょうかん や 崎津資料館みなと屋



①



①

1936年に建てられた旅館を改修した資料館です。崎津集落で継承され、個人で保管してきたキリスト教信仰に関する資料や崎津教会所蔵の資料を展示しています。また、崎津集落の歴史や独特のキリスト教信仰について映像やジオラマ、パネルなどで分かりやすく紹介しています。

- 所在地／天草市河浦町崎津463 Tel: 0969-75-9911
- 営業時間／9:00～17:00
- 休館日／12月30日・31日・1月1日
- 入場料金／無料

H つどい処 まつだ(ギャラリー)



①

崎津集落の風情や歴史を絵画などで伝えるギャラリーと休憩スペースです。

- 所在地／天草市河浦町崎津470
- 営業時間／9:00～17:00
- 休館日／12月30日・31日・1月1日
- 入場料金／無料

I さきつしゅうらく 崎津集落ビューポイント②



①

港の対岸から崎津集落が一望できます。禁教期からの集落の骨格を形成している主要な道や宅地、信仰の場所やその跡が現在も残り、崎津集落の独特の景観を作り出しています。

J かいじょう ろう 海上マリア像



※天草漁協崎津支所付近から見学してください。



②

マリア像は、信仰のシンボルとなるよう、また、漁師たちの道しるべ、心の灯となるよう、多くの人々の協力を得て1974年に建てられました。像が建てられた岸壁は、聖母マリアの姿が現れる場所として潜伏キリシタンに信仰されてきました。マリア像の向こう側に沈む夕陽が、ロマンティックな雰囲気を出し、天草夕陽八景の一つとしても有名です。



長崎県 熊本県

離島などへ移住

- 1 原城跡[南島原市]
- 2 平戸の聖地と集落(春日集落と安満岳)[平戸市]
- 3 平戸の聖地と集落(中江ノ島)[平戸市]
- 4 天草の崎津集落[天草市]
- 5 外海の出津集落[長崎市]
- 6 外海の大野集落[長崎市]
- 7 黒島の集落[佐世保市]
- 8 野崎島の集落跡[小値賀町]
- 9 頭ヶ島の集落[新上五島町]
- 10 久賀島の集落[五島市]
- 11 奈留島の江上集落(江上天主堂とその周辺)[五島市]
- 12 大浦天主堂[長崎市]



「天草の崎津集落」に関するお問い合わせ
天草市 観光文化部 世界遺産推進室
 〒863-1202 熊本県天草市河浦町河浦5253 TEL:0969-76-1116
 [HP] <http://www.city.amakusa.kumamoto.jp/sakitsu-sekai/>
 [MAIL] sekai@city.amakusa.lg.jp

企画・発行／長崎県、熊本県、長崎市、佐世保市、平戸市、五島市、南島原市、小値賀町、新上五島町、天草市

潜伏キリシタン遺産 検索 <http://kirishitan.jp>

撮影協力／①池田 勉、②日暮 雄一

2018年7月発行



国際連合教育科学文化機関



長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産
 世界遺産登録年:2018年